

音楽を通じて、つながりを取り戻し、一緒にいること (Stand by) を感じる機会に

STAND BY フェスティバル

辛い時、孤独を感じる時、思索を重ねる時、そして、共鳴する時、いつも音楽があった。障害児施設で暮らした子ども時代、親や家族からも離れ離れ、外出もままならない暮らしだった。唯一、ベッドの中で隠し持ち込んだラジオを聴くのが楽しみだった。深夜ラジオから流れてきたのは生まれて初めて聴くロックだった。こんな音楽があるのか？と衝撃が走った。施設を出て地域の学校に進んでからも、音楽友達とレコード屋に通った。一緒に行ったフェスティバルで知ったブルース、喫茶店で本を読みながら聴いたジャズ… 音楽は世界への窓だった。世界を広げ、人とひとのつながりをつくってくれた。昨年からのコロナ禍により映画やコンサート、演劇も中止や延期に追い込まれ、今も様々な制限が続いている。施設に居た時と共通した閉塞感が社会全体に広がったような感覚を覚えた。しかし、そうした状況だからこそ、音楽をはじめとする文化芸術は生きる糧であることをあらためて痛感する。生活と切り離すことの出来ない音楽の力を感じる時間を、みなで共有したい。

Stand by フェスティバル プロデューサー 尾上浩二 (DPI日本会議)

1960年、大阪に生まれる。幼少時から脳性マヒの障害があり、小学校を養護学校、障害児施設で過ごしたのち、地域の学校に進む。大学入学後、バリアフリーや自立生活運動に関わる。DPI日本会議副議長、内閣府障害者施策アドバイザー。

STAND BY フェスティバル

音楽を通じてつながりを取り戻し、一緒にいることを感じる機会に



誰もが参加できるように フェスティバルにおける 合理的配慮の取り組み

- 1 受付ではどなたにもウェルカムな対応で、鑑賞や参加をサポートします。
- 2 カームダウンスペース：当日、気分がすぐれなくなった方のための休憩室を用意します。
- 3 車椅子席を用意します。手話通訳、文字サポート (UDトーク)、音声ガイドを提供します。

【チケット料金】2日間通し券 1,000円

※小学生以下無料、障害のある方の付添者1名無料

【事前購入・予約方法】 右記QRコードリンク先の予約フォームよりご購入いただくか、お問い合わせ先までご連絡ください。
※定員がございますので、事前購入・予約をおすすめします。

予約フォーム <https://standbyfes.peatix.com>

【お問い合わせ先】 STAND BY フェスティバル開催事務局 (Palabra株式会社 大阪オフィス)

電話:06-7713-5312 メール:support@udcast.net ※土日祝を除く平日10時~17時

<予約フォーム>



STUDIO PARTITA

クリエイティブセンター大阪
スタジオパルティッタ

〒559-0011 大阪府大阪市住之江区
北加賀屋4-1-55 名村造船所跡地
(大阪市営地下鉄四つ橋線 北加賀屋駅
4番出口より徒歩10分)

【バリアフリー出入口ルート】

ホーム→EV→西改札口→EV→地上
西改札口を出て右側4番出口からエレ
ベーターで地上にあがってください。
そこに案内係がいます。

【駐車場(敷地内)】

200台 500円/3時間 1000円/1日

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来場される方は以下の対策をお願いいたします。

- 1 体調不良(発熱・咳・咽頭痛・味覚障害などの症状)の方はご来場をご遠慮いただきます。
- 2 マスク着用、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒をお願いします。
- 3 観覧中は、他の人と接触しない程度の間隔を確保してください。
(障害のある方等の誘導、介助を行う場合は除きます)
- 4 大きな声での会話・歓声はご遠慮いただきます。

主催者として、以下の新型コロナウイルス対策を徹底します。

- スタッフの体調確認を行います。
- スタッフはマスク着用の上で案内いたします。また、こまめな手洗いを行います。
- 館内のドア、手すり、トイレなど、手を触れられる箇所の消毒を強化します。
- 館内は密閉した空間にならないよう、定期的に換気を行います。

主催：一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁／共催：日本博を契機とした障害者の文化芸術共同創造プロジェクト実行委員会〔(公財)日本ダウン症協会、(認定NPO法人)DPI日本会議、(社福)日本肢体不自由児協会、全国自立生活センター協議会(JIL)、(特非)全国地域生活支援ネットワーク、(公社)日本フィランソロピー協会〕／協力：障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク／制作協力：自立生活夢宙センター、有限会社ダンディライオン、株式会社オフィス・キーズ

日本博 JAPAN CULTURAL EXPO 心を、うごかそう。 Art Moves Us All.

2022.12.24 土 / 25 日

会場：クリエイティブセンター大阪 STUDIO PARTITA | BLACK CHAMBER
事業名：令和4年度日本博主催・共催型プロジェクト／日本博を契機とした障害者の文化芸術共同創造プロジェクト／Co Creation for All Peoples

プログラム-1 ダンス&Vo. | 演劇

誰もが楽しむことができるパフォーマンスと演劇でフェスティバルの幕が開きます。

12.24 土

会場：BLACK CHAMBER

- 🕒 15:00～ 「ばあとなあ劇団」 演劇公演
- 🕒 15:45～ 「インクルーシブ劇団 夢屋」 演劇公演
- 🕒 16:45～ ダンス&Vo. パフォーマンス もりしげゆい

自立支援センター 「ばあとなあ」

私たちは差別解消法がスタートした年に、わかりやすく制度を伝えるため劇団を立ち上げました。今回の演目は「ももじろう」。障害のある主人公が差別と闘い成長していく物語です。この劇を通じて、少しでも障害理解が深まれば嬉しいです。

インクルーシブ劇団 「夢屋」

階段・段差など私たちの住む街には、妖怪バリアーが溢れています。そのような目に見えるバリアーのほかにもっと手強いのが心のバリアーです。差別・偏見…それらは、知識や経験のないことからだれにでも生まれる心のバリアー。インクルーシブ劇団「夢屋」は子どもたちに障害のある人と子どもの頃から出会い、一緒に楽しむ経験を通して目に見えない心のバリアーをやっつけてもらうために活動しています。

3人のパフォーマンスをお楽しみください！



北村成美 (ダンサー・振付家)
「生きる喜びと痛みを謳歌するたくましいダンス」をモットーに国内外で活動。日本各地で市民参加によるコミュニティダンス作品、ミュージカルや演劇の振付、音楽家や美術家との共同製作、CMや映像作品を多数発表。障がいのある人とない人が共に踊る「湖南ダンスカンパニー」にてディレクターを務める。一般財団法人地域創造ダンス活性化支援事業登録アーティスト



森田かずよ (ダンサー・女優)
先天性の障害を持って生まれ、18歳より表現の世界へ。「Performance For All People. - CONVEY」主宰。ヨコハマパラトリエンナーレ、アジア太平洋障害者芸術祭など国内外の多数の公演に出演し、メディア出演も多数。東京2020パラリンピック開会式出演。神戸大学人間発達環境学研究所修士学位取得。PERSOL Work-Style AWARD 2020 ダイバーシティ部門受賞



こむろゆい
1997年ミュージカル「スパイものがたり」(別役実・作)に楽団として出演。1999年NHK「みんなのうた」に採用された自作曲「ひとつのドア」でCDデビュー。現在は「こむろゆいとかわのしゅんじ」でのライブ活動の他、父、小室等とのユニット「Lagniappe」や「六文銭」のメンバーとしても活動。また、DVD「日本のアウトサイダーアート」ではナレーションを担当

プログラム-2 映画

音声ガイド、バリアフリー字幕に対応した映画を上映します。アフタートークは、手話通訳と文字サポート付き。

12.25 日

会場：BLACK CHAMBER

- 🕒 12:00～ 映画『MINAMATA-ミナマター』上映
- 🕒 14:00～ アフタートーク
尾上浩二 (DPI日本会議副議長、Stand by フェスティバルプロデューサー)
山上徹二郎 (映画プロデューサー、株式会社シグロ代表)



©2020 MINAMATA FILM, LLC ©Larry Horricks

映画『MINAMATA-ミナマター』

ジョニー・デップがキャリアの全てをかけて伝える 世界への警告と希望の光

伝説の写真家ユージン・スミスと水俣の実話から生まれた衝撃の感動作。人々の暮らしに寄り添ったユージンの瞳とカメラを通して私たちが見るのは、闇に包まれた苦難の瞬間にも、光として浮かび上がる人間の命の輝きと美しい絆。警告と希望を焼き付けた、今こそ体験するべき一本が誕生した。(公式サイトより) 2020年製作/115分/G/アメリカ
字幕はスクリーンに表示、音声ガイドはアプリUDCastで提供。※貸出端末あり(要予約)。

プログラム-3 ライブ

聖なる夜に障害の有無、プロアマ、ジャンルを取り払った音楽ライブをお届けします。音楽に魅せられた尾上浩二がプロデュースします。

12.25 日

会場：STUDIO PARTITA

- 🕒 15:00～ ザ・青空 (チャンさんバンド)
福岡 勇八 (イケやん) 織瀬 来歩 (おりせらふ)
- 🕒 16:30～ 小室 等
- 🕒 17:30～ 木村 充揮

木村充揮 Kimura Atsuki

1954年3月24日生まれ。大阪在住。75年のデビューから20数年余り日本を代表するブルースバンド「憂歌団」のリード・ヴォーカルとして絶大な人気を誇り、94年よりバンドと併行してソロ活動をスタート。現在もソロを中心に様々な形態で年間100本前後のライブを全国で展開。「天使のダミ声」と称される独特の歌声と、もはや名人芸の域に達している唯一無二のライブパフォーマンスは数多のアーティスト達からのリスペクトを集め、未だ多くの聴き手の心を鷲掴みに揺さぶっている。



小室等 Komuro Hitoshi

1968年にグループ「六文銭」を結成。1975年 泉谷しげる、井上陽水、吉田拓郎と「フォーライフレコード」を設立。2005年「認定NPO法人 ゆめ風基金」の呼びかけ人代表を永六輔氏より引き継ぐ。2011年7月11日「音楽生活50周年ライブ～復興～」を行う。2012年より糸賀一雄記念賞音楽祭の総合プロデューサーを務める。自身のコンサート活動の他、映画・舞台の音楽制作、ナレーション、連載コラムの執筆など活動は多岐にわたる。



ザ・青空 The Aozora

2008年10月に住之江区の自立生活夢宙センターの平下泰幸(おじき)(障害当事者)とヘルパーの登裕樹(イタリン)が酒を酌み交わしながら、ロックについて語り合い、おじき、イタリン、ダガーでザ・青空を結成。そこにツインギターでバクチャー、ギャッツが加入し、5人編成のザ・青空になる。「ぼくらの音楽で、みんなの心を青空のように晴れやかにしたい」という思いをこめました。曲はザ・ブルーハーツや忌野清志郎を中心にオリジナル曲をひっさげて、13年間、元気に活動中！



福岡 勇八 Hukuoka Isaya

自立支援センター「ばあとなあ」障害者スタッフとして働き、2003年から「障害者、健常者」の心の壁を崩すことを人生の目標として活動中。近年はクラウドファンディング「アジアの空からプロジェクト」でアジアの障害者支援に取り組む等、様々なジャンルで活動の場を広げている。



織瀬 来歩 Orise Laugh

1992年生まれ30歳のシンガーソングライター。2019年からピアノを独学で取得し、現在TikTokのフォロワーは約7万人！「違いを認め合える社会に」を合言葉に、大阪を中心に精力的にライブ活動を続けている。



障害者の文化芸術共同創造プロジェクトとは

「日本人と自然」を障害者の視点を通して発信する「日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル」(2020.2～2022.3)が掲げた、文化芸術を通じた共生社会の実現を継承した事業。舞台芸術、美術、ファッションショー、バリアフリー映画などをコンテンツとする。実施にあたっては共同創造を根拠に置き、障害者と共に創るプロジェクトのあり方のモデル構築を目指している。

日本博を契機とした障害者の文化芸術共同創造プロジェクトHP



日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバルアーカイブサイト

